



南アルプス市
社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

2015
2.1発行

vol.

23

冬期号

社協だより



養護老人ホーム慈恵寮でのクラブ活動
で月2回書道教室を行っています。

特集

皆で支え合う地域づくり～一つひとつの課題から地域づくりが生まれる～
モデル地区(八田・若草北)ふくし小委員会報告

第3次地域福祉活動計画「あったかいろのまちづくり計画」に向けて

みなさまからいただいた社協会費と共同募金は さまざまな福祉事業に使われています

今年度も市民のみなさまより、社協会費ならびに共同募金にご協力をいただき誠にありがとうございます。

南アルプス市社会福祉協議会では基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」を進めていくために、お寄せいただいた社協会費や共同募金は、社会福祉事業の財源として様々な事業に有効活用していきます。

愛ちゃん と 希望くん



平成26年度 社協会費

地区	金額(円)
八田	1,711,000
白根	4,497,100
芦安	130,000
若草	2,633,000
櫛形	4,667,200
甲西	2,993,000
その他	9,000
合計	16,640,300

(平成26年12月25日現在)



福祉運動会



高齢者応援ボランティア養成講座

平成26年度 赤い羽根共同募金中間報告

募金種別	金額(円)	説明
家庭募金	9,495,616	自治会長・組長さんのご協力で、市内の各世帯へお願いしたものです。
街頭募金	90,586	ボランティアさんのご協力を得て、店頭や社協のイベント等で行った募金です。
大口募金	2,091,802	民生委員さんにご協力いただき、市内の企業・団体からいただいた募金です。
職場募金	311,722	事業所・職場等から、ご協力いただいた募金です。
学校募金	110,909	市内の小・中学校の児童会、生徒会から、ご協力いただいた募金です。
自動販売機募金	10,066	市内に設置された自動販売機の売上の一部を募金としていただいています。(設置場所: デイサービスゆかり デイサービスわかさ 社協櫛形事業所)
合計	12,110,701	

(平成26年12月25日現在)



街頭募金

その他にも多くの事業が行われています

- ボランティア事業 ● ボランティア団体育成事業 ● ふれあいいきいきサロン実施 ● おやつサービス事業
- 一次相談事業 ● 福祉標語ポスター募集事業 ● みんなで地域をよくする事業 ● 福祉運動会事業
- 歳末助け合い事業 ● 通院サービス事業 ● 地域における減災・防災のまちづくり事業
- 地域交流拠点事業 ● 社会福祉大会開催事業 ● ボランティア情報紙発行 ● 社協だより発行 他

♥今年度も皆さまから多くの善意をいただきました。ありがとうございます♥

平成26年度 厚生労働大臣表彰を受賞しました!

声のボランティア「かえでの会」

「かえでの会」は平成3年に山梨ライトハウスでの朗読活動経験者が中心となり、朗読に関心のある方々が集まり結成されました。現在に至るまで23年間にわたり、毎月発行される広報等の録音、本の朗読録音活動など視覚障がい者への情報伝達に貢献してきました。また地域の保育園や祭りへの協力、高齢者への朗読活動など幅広い年齢層に本や紙芝居の楽しさを伝える活動を続けていることが認められ、今回の受賞となりました。今後もますます充実した活動を続けていかれることを期待しています。おめでとうございます。



第11回南アルプス市社会福祉大会を開催しました



平成26年12月7日(日) 櫛形生涯学習センターあやめホールにおいて、社会福祉大会を開催いたしました。

第一部式典では、今日まで社会福祉の発展に功績のあった個人・団体表彰、平成26年度福祉標語・ポスター入賞者表彰および金婚祝い記念品の贈呈を行いました。

第二部では、ふれあいサロン桃園ボランティアの会による『甲州弁桃太郎』の公演および、五緒川津平太さんの『甲州弁で地域をつなぐ〜キャン・ユースピーク甲州弁?〜』の講演が行われました。

社会福祉の発展に功績のあった個人・団体表彰

(順不同・敬称略)

●社会福祉協議会役員功労

望月 敬子 秋山 栄男 小笠原 敬子
小林 昌征 清水 祝子

●社会福祉活動功労

森山 ひろ子

●金品寄附・労力提供

高橋 仁 原田 順治
河西 靖子 芦澤 孝子

●介護功労

遠藤 弘美 佐久間 美里 中島 久典

○入選

平成26年度小中学校福祉標語・ポスター入賞作品

標語の部

◎特選 『広げよう 優しい心と 助け合い』
櫛形中 2年 堀口 遥名

○入選 『支えよう みんなの力が 強い杖』
白根巨摩中 2年 上村 龍之祐

『小さな手 差し出す勇気が 大きな心』
櫛形中 3年 中込 さくら

『手をつなごう みんなで築く 未来の輪』
甲西中 2年 堀内 陽菜

ポスターの部

◎特選



櫛形中 3年
吹野 文音



櫛形中 1年
大塚 知紗



若草小 4年
石川 紗希



若草南小 2年
沢登 瑞樹



とつの課題から地域づくりが生まれる～

「ここに相談すればよいのか分からない…」など社協はあらゆる困りごとに対応します。

ご近所での気づき

- 郵便物や新聞がたまっている
- 夜になっても明かりがつかない
- もう何日も顔を見ておらず心配
- 毎晩、子供の異常な泣き声が聞こえる
- 家の周りに物(ゴミ)があふれている
- 子育てに悩んでいる？
- 怒鳴り声が頻回に聞こえる



相談

隣近所、民生委員等



気になるから社協に相談してみよう

～一次相談～※1

本人に会って、困りごとを聞きに行ってきます

訪問

社協職員



継続した相談支援の開始

話し合い

～地域ケア会議～※3

隣近所、民生委員、専門職、市、ボランティア、社協 など

- ・「なぜそうなったのかな」
- ・「私たちにできることはなんだろう」
- ・「行政や社協のサービスは使えないのかな」
- ・「地域のみんなで支えることはできないのかな」

チーム

ふくし相談支援センター、CSW※2、ケアマネジャー、市、社協、民生委員など



用語解説

- ※1 一次相談
地域の気になること、困ったことを、地域の身近でキャッチする機能。各社協事業所が拠点となり、地区担当職員等が相談に応じている。
- ※2 CSW(コミュニティーソーシャルワーカー)
個別の課題に寄り添い、住民を含む社会資源を駆使して、課題解決に導く相談支援を行う福祉の専門職。
- ※3 地域ケア会議
隣近所、民生委員、自治会、ボランティア、行政、社協職員など、困りごと(課題)を抱えている当事者を取り巻く関係者による、解決に向けた話し合い。
- ※4 ふくし小委員会
社協が進めている住民中心の話し合いの場。個別の課題から地域の課題を見つけ、自治会、民生委員、関係団体、ボランティアなどの住民同士が集まり、住民や行政、社協などにできることを話し合い共有し、実行する場(小学校区単位)。

んだか
になるわ

入っているんじゃないかな

い地域になるんじゃないかな

づくり(見守りネットワークなど)
生活が送れるようになるために…

について考える場です。)

地区で開催しました。



皆で支え合う地域づくり ～一つひ

「お隣さんがこんなことで悩んでいるけど、どうしよう…」 「相談したいんだけど、ど



ご自身、家族、友人が…

- 心の病気、生活困窮など
- うつ病になって失業してしまった
 - 夜も眠れない、食欲もない
 - 借金を抱えていて、辛い

課題をいくつも抱えている

- 自らSOSを出せない
- 私たちも高齢となり、障がい等を持つ子どもの将来が心配
 - 最近親が認知症になってきた
誰かに言いたいのに言えない

課題・困りごと

実は本人は、足腰が痛くて、うまく動けないで困っていた

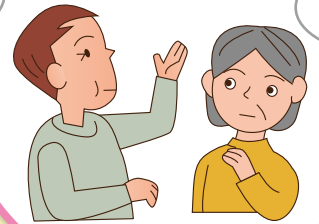


たとえば…
ゴミをため込んでしまっている家がある。



発見・気づき

身近な近所の人たち
(隣近所、民生委員等)



ちょっと心配だなあ

福祉活動

- ・ 地域みんなでゴミの片づけを一緒にやろう
- ・ 時々、様子を見ることもできるよね
- ・ 地域の集まりにも誘ってみようよ

住民、民生委員、ボランティア など



変化

- ・ 「ありがたいなあ」
- ・ 「何だか最近、みんなが気にかけてくれるなあ」
- ・ 「私も何かしてみようかな」
- ・ 「今度困ったら〇〇さんに話してみようかな」



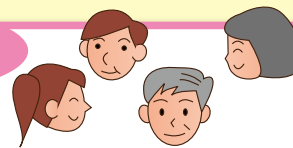
- ・ 住民だけではできない部分は、市、専門職
行政や専門機関、社協のサービスへ



協働

- ゴミの片づけなどを通じて
- ・ 地縁の再構築
 - ・ 地域活動への参加
 - ・ 生活に意欲
 - ・ 困ったときに相談できる

把握・共有



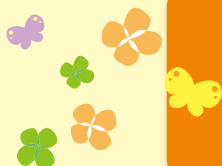
- ・ 「他にも同じような困りごとを抱えている人」
- ・ 「1人だけじゃないはずだよなあ」
- ・ 「地域みんなで考えれば、もっと住みやすい」

地域みんなで“支え合う”孤立させない仕組み、お互い様の地域
早期発見・早期対応・予防の必要性などに向け、また地域で自立した

「ふくし小委員会※4」の開催

(ふくし小委員会は、住民の皆さんと一緒に自分の地域につ

平成26年度はモデル地区として、八田地区・若草北



モデル地区(八田・若草北)ふくし小委員会報告

「ふくし小委員会」を地域の方々とどのようにつくりあげるか。平成26年4月から10月にかけて計6回、2地区(八田、若草北)をモデル地区として、「ふくし小委員会」を立ち上げ、様々な意見を頂きながら開催してきました。地域住民が地域に目を向け、地域福祉の担い手としてどんなことができるのか。毎回熱心な話し合いが行われました。

八田地区ふくし小委員会報告

地域課題の抽出

- ①認知症の家族が抱える課題とその家族が住む地域の課題を探りました。
- ②「H26.2.14-15 大雪」時の、自分自身の行動、地域住民相互の関係から地域の課題を探りました。



方策の検討

- ④地域課題の解決策、予防策を、八田地区にある社会資源を活かしながら考えました。

社会資源の確認

- ③八田地区にある人材、団体、行事などの社会資源について確認しました。



話し合いの内容をまとめると…

あの大雪のときに、隣近所で自然に協力して雪かきや安否確認ができた地域は、日頃から地域のつながりも強かった。小さな地域(組)でのつながりを強くするためには、まず顔を合わせる機会を増やすことが大事!!
そこから地域のつながりも出てくるのではないかと。(何か楽しく、気軽に顔を合わせる機会があると良い。)

若草北地区ふくし小委員会報告

- ①個別事例を「自分のこととして捉え考える」場を設け、検討し、地域の課題として繋いでいきました。
- ②解決に結びつけるため地域の特性(強み、弱み)や社会資源を出し合い、把握を行いました。
- ③地域の特性と地域にある社会資源を結び付け、予防・解決に向けた方策を考えました。

【個別事例を通して考えたこと】

- ・小さな親切、大きなおせっかいが不足しているのでは…
- ・住民の生活を守るために必要な知識と支援が不足しているのでは…
- ・地域住民同士のつながりが薄く、特に新旧住民の交流が不足しているのでは…

地区での勉強会、災害時安否確認方法の検討など、これからも継続的に話し合い、具体的な取り組みを検討していきます。

検討

実践



個別事例を検討



把握

自分の住む地域を知る



地域課題の解決策を考案



第3次地域福祉活動計画 「あったかいるのまちづくり計画」に向けて

社協では、第3次地域福祉活動計画（平成27年度～平成31年度の5か年計画）を策定中です。地域の皆様とさらに力を合わせて、「誰もがいつまでも住みたいまち」を目指し、様々な活動に取り組んでいきます。

基本理念

わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち

この基本理念は、社協の指針であるため、第3次計画にも継続していきます。

～第2次地域福祉活動計画をふりかえると～

- ・地域で活躍できる人材の育成
- ・子供から大人まで幅広い範囲での福祉教育
- ・防災をキーワードに地域の絆の再構築
- ・様々な情報の発信と受信の充実の検討
- ・制度だけでは対応しきれない課題に対しての検討、働きかけ…

など住民の方々と共に、様々な取り組みを行ってきました。

しかし、時代の変化と共にこれからも継続が必要な課題や新たに取り組むべき課題も見えてきました。それらの課題を、住民の皆様と共に考え、どう解決していけば良いか、社協内に作業部会を設置し、振り返りや課題の分析、検討を重ね、第3次地域福祉活動計画への反映に向け、市とも連携を図りながら現在策定中です。今後に結びつく課題等の途中経過を報告します。



1. 地域の和を広げ、安心して暮らせる仕組みを考える。

「孤独と孤立」「顔を会わせる機会」「地域の結びつき」などへの働きかけ

2. 地域に必要なものは何かを考える。

「低下する地域力」「苦悩する高齢者とその家族」などへの働きかけ

3. 「見て見ぬふりから お互い様に…」について考える。

「病気・障害の理解不足」「壁がある、関わりたくない、他人事」などへの働きかけ

4. 予防・発見・支援の仕組みを考える。

「地域の声をキャッチする仕組みがない」「人材不足」「解決機能が不十分」などへの働きかけ



南アルプス市社会福祉協議会では、これからも地域の皆様と共に課題を解決し、誰もが安心して暮らすことができる地域を目指します!

10月

市役所のみどり自然課から頂いた
ビオラの花を、入所者のみなさんでプ
ランターに寄せ植えしました。「誰よ
りも私のが一番きれいにできた」と
ても得意顔で自分のプランターに名
札をつけ大切に育てています。
これからの季節、寒さに負けず綺麗
な花が咲き続けるといいですね。



11月

柿平地区の子供クラブのみなさん
と一緒に恒例の「落ち葉掃き」を行
いました。
終了後、入所者のみなさんは子供達
に「ありがとう」とお礼を言いなが
ら嬉しそうに小さい手と握手をして
いました。

柿平の子供クラブのみなさん、そし
て地域のみなさん、またいつでも遊
びに来てくださーいね。



12月

入所者の健康維持のために9月か
らおやつの後「きよしのズンドコ体操」
を始めました。この頃は慣れてきたの
でみんな楽しく元気にやっています。
今後は健康な足を維持するため、下
肢筋力強化を考えていく予定です。さ
て今度はどんな曲に合わせた体操が
良いでしょうか。



善意によるご寄附 ありがとうございます

(順不同)

●ご寄附いただいた金品は貴重な財源として福祉事業推進に役立たせていただきます。

(平成26年6月1日～平成27年1月13日までのご寄附)

鏡中条ふれあいコスモスの会 様……………雑巾、絵手紙等
新津モーターズ新津貴之 様……………100,000円
匿名……………50,000円
匿名……………文房具等
匿名……………13,927円
百々八区二桁会 代表 進藤吉男 様……………10,000円
匿名……………39,900円
匿名……………米30kg
南アルプス市社交ダンス部 代表 深沢完治 様……………50,000円
マックスパリュ東海(株) 様……………車椅子1台
ちっくいまつり若草実行委員会 委員長 荻野一男 様……………2,903円

妙善寺 様……………30,000円
森本和枝 様……………5,700円
櫛形環境とリサイクルの会 様……………50,000円
沢登すずらん学級 様……………7,000円
明るい社会づくり運動協議会 様……………50,000円
トヨタ自動車東日本労働組合 様……………44,132円
村松春一 様……………車椅子2台



トヨタ自動車東日本労働組合 様



マックスパリュ東海(株) 様



村松春一 様

【訂正とお詫び】

H26.7月発行の社協だよりVol.22善意によるご寄附のコーナーにおいて一部誤りがありました。謹んでお詫びさせていただくとともに訂正させていただきます。

誤 南アルプス市グラウンドゴルフ協会 様
正 南アルプス市グラウンドゴルフ協会櫛形支部 様

社協について ご意見ご感想をお寄せください

〒400-0337 南アルプス市寺部659
南アルプス市社会福祉協議会「社協について 意見・感想係」
e-mailでも受け付けます。
info@minami-alpsshakyo.or.jp

【発行】

社会福祉法人 南アルプス市社会福祉協議会
〒400-0337 山梨県南アルプス市寺部659
TEL055-283-8711(代) FAX055-283-4167
URL <http://www.minami-alpsshakyo.or.jp/>



この広報誌には赤い羽根共同募金の配分金と社会福祉協議会の会費が充てられています。